



●平成14年8月登録 ●走行8万3000km

## BNR34Nür 運行日誌

# ゲトラグのフィール悪化を ニューテックが完全解消!!

文：山本浩伸(本誌) 写真：大西 靖/川澄智史

**お待ちせ！06年初頭リリース  
NC70を進化させた専用オイル**

ここ数カ月の間、妙にゲトラグのフィールリングが悪化していた。とくに1と3速ギヤを入れる時にゴリゴリという感覚を伴いおまけになかなか抜けない。スッポリはまってしまい引っこ抜くという表現が適切か。ただでさえシフトフィールの良くないゲトラグゆえに、悪化となる

と不快極まりない。前号のシヨップ通信のコーナーで藤村オートのBNR32に搭載されたゲトラグが素晴らしい感覚を味わわせられたこともあり、イライラは募るばかり。そこで思い出したのが06年初頭、ニューテック・鳩谷和春代表の「近い将来、ゲトラグ専用油をリリースします」という言葉だった。

早速、鳩谷代表の下を訪ねる。「お待ちしました。早速、作業を始めましょう」とひと言だけ山本に告げ、「例のヤツ」とメカニックに指示を出す鳩谷代表。

「あのお。今回はナニを？」  
山本の問いに鳩谷代表は、「ん、まあ」と言葉を濁しほほ笑むのみ。ひよつとしたら……。

「試作品を入れます。06年早々にはみなさんに使っていただけることでしょう」「ということはゲトラグ専用油品？」

「せん断性と潤滑性を向上させました。粘りというか分子の吸着性ですね。どんな状況においても油膜を保持しベアリング関係の傷みをカバーしゲトラグを守り切ります。間違いなくフィールリングも変わるでしょう」と鳩谷代表。

従来、ユーザーは競技主体に開発された「NC70」を使用し大いなる喜びを味わってきた。ゲトラグ専用油品は「NC70」をさらに進化させたというから驚きだ。

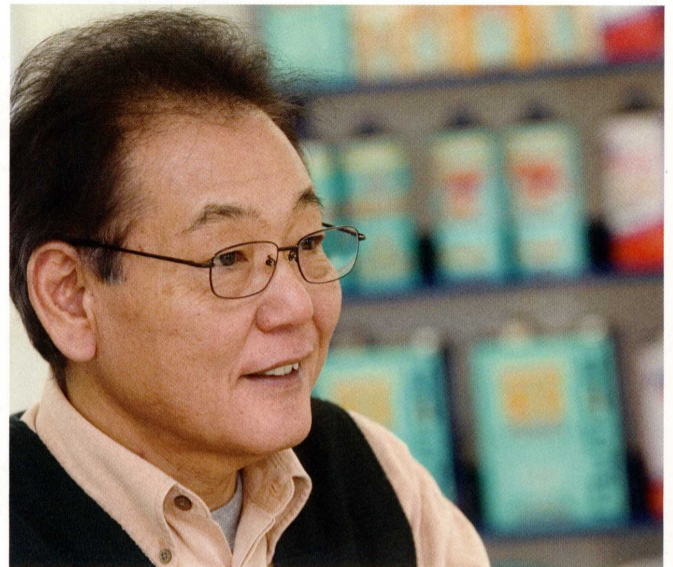
では、正直に結果を報告する。Rオーナー諸氏を感わさなためにも。

ニューテック本社を出て帰路についた途端からシフトフィールが軽くなった気がした。ただし、交換後の安心感が錯覚を起こさせる場合もある。だから五感を研ぎ澄ませインプレッションに臨もうと身構えた。だが、結果は単純明快だった。我慢ならなかったゴリゴリ感、ひっかかり感が見事に消えてしまった。ゲトラグの宿命と諦めていた不快感が一掃されたことにしばらくは信じられないでいた。だが、紛れもない現実である。

# いち早く専用品を注入し劇的変化を体感



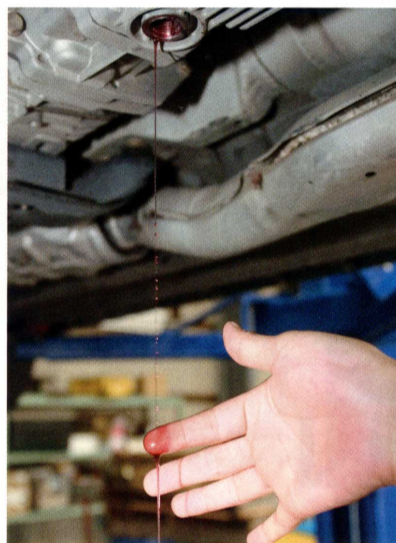
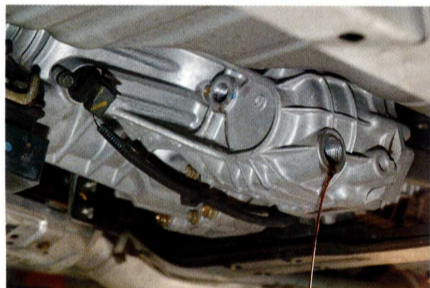
エンジンには[NC-41](10W-50・3675円/ℓ)を注入。先達、実施した[パワーアッププログラム]の効果と相まって常に新車時並の軽い吹け上がり感を堪能。囲キョクトー ☎0729-94-5695/日本オイルサービス ☎042-542-8861



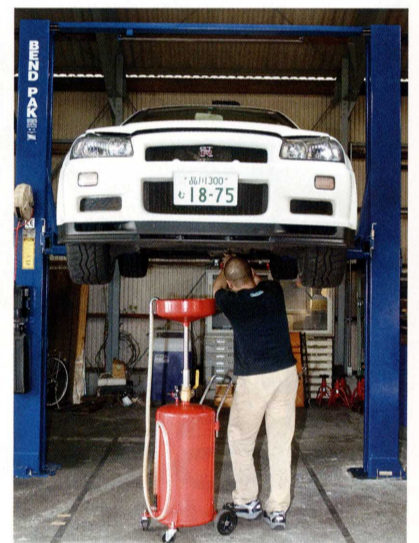
ニューテック代表の鳩谷和春氏。「当社の商品は作り手が『あしたい、こうしようという思いを常に反映させています。だから人知れず少しずつモデルチェンジしているのです』



ドレンボルトに付着した鉄粉。2万km走行ゆえこの程度の量は妥当か。一方、トランスファーオイルの劣化はやや大きかった。時折サーキットや峠でのタイヤテストなどでの酷使が響いた!



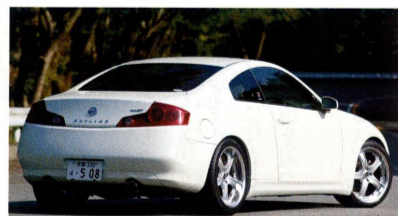
2万kmをやや超えたミッションオイルの状態。オイル自体の劣化は少なかった。まだまだ使えるが今回は交換



エンジン、ミッション、トランスファー、デフ、すべてのオイルをニューテックで統一。豊富な選択肢も魅力だ

## 次期GT-Rへの布石として 日産が示した新しい道

本誌056号からスタートしたCPV35運行日誌。約2年近く付き合うことで“シフト”した新しい日産の方向性を直接肌で感じることができた。先日東京モーターショーでは遂に待望のGT-Rプロトが登場。「スカイライン」という車名が付くかどうかは不明だが、そのダイナミックなシルエットはV35クーペの流れを汲んでいるようにも見える。次期型Rの姿が公開され11月30日にはV35クーペがマイナーチェンジを受けたこともあり、本誌クーペの運行日誌はここで一端任を終えることになった。R34までとは異なる道を選択したV35だが、GTとしての素性は高くスタイルも洗練された。デビューから約3年経過しても伸びやかなフォルムは今でも新鮮に移る。欲を言えば、毎年進化を遂げているZのように走りのほうにも力を入れてほしかったが……。'06年後半には次期V36が登場するといわれている。スカイラインと名乗るからにはファンの期待を上まわる走りも期待したい。



燃費の総平均は6.19km/ℓ (最低4.88km/ℓ、最高10.73km/ℓ)。サイズに慣れれば街乗りでの使い勝手も良く、とくに高速での快適性は特筆モノ。さらにスポーティなハンドリングが加わればということなしだ



●平成16年3月登録 ●走行1万9000km

CPV35 運行日誌 最終回